



子どもの権利に関する情報紙

41号

Titti ちっち

ちっ ちやいけど
ちっ ちやくない



子どもは、それぞれが一人の人間で、自分らしく生きる権利、人として尊重される権利があります。
それは、子どもおとなも同じこと。

「Titti (ちっちやいけどちっちやくない)」は、そんな思いを込めて作っています。

11月20日はかわさき子どもの権利の日

『令和7年度 かわさき子どもの権利の日のつどい』を 開催しました!

川崎市子どもの権利に関する条例に定められている“かわさき子どもの権利の日(11月20日)”にちなみ、たくさんの方々に子どもの権利について知ってもらうため、令和7年12月13日(土)に高津市民館にて「かわさき子どもの権利の日のつどい」を開催しました。

当日は、午前中から多くの方に参加いただき、各ブースは大変盛り上がりしていました。合計約450名の方々に御来場いただきました。

ホール企画では、「マジックと音楽と絵本のショー」を午前と午後に実施しました。西野博之さんの司会で、大友剛さんがマジックや音楽や絵本を融合させたステージショーを実施しました。参加者のみなさんもマジックに驚いたり、一緒にうたったり、絵本の世界にはいって会場が一体となって楽しめるショーとなりました。



マジックと音楽と絵本のショーの様子



この他、ホール内では、短編映画「パンダコパンダ」上映会も実施し、多くの子どもたちや親子連れの方々に賑わいました。



また、会場内の諸室では、出張!ミニ子ども夢パーク、子どもの権利条約に関する書籍の展示やかるた体験、CAPプログラムワークショップ、不登校をテーマとした講演会、人権ポスターの掲示、意見聴取ブースなど、多彩な企画を実施し、親子で楽しむ姿や熱心に話を聞く来場者の姿など、様々な様子が見受けられました。



出張夢パークの様子



かるたで楽しく学ぼう!子どもの権利の様子



「もう不登校で悩まない!おはなしワクチン」の様子

川崎市子ども会議「カワサキ☆U18」 私たちの「子どもの権利」をもっと大切に!



川崎市では、市をもっと良くするために、子どもたちが中心になって話し合う「川崎市子ども会議」を開催しています。川崎市子ども会議では、「カワサキ☆U18」と題して、1年間のテーマを決めて、いろいろな子どもとの話し合い、さらには大人との話し合いを通してまとめた意見を、市長に伝える活動を行っています。今年度はテーマ「私たちの『子どもの権利』をもっと大切に!」です。

7/19 「子どもの権利について子ども同士で意見交換」

「川崎市子どもの権利に関する条例」に示されている7つの子どもの権利のうち、「自分が特に大切だと思う権利とその理由」や「子どもの権利が大切にされるためのアイデア」について、川崎市子ども会議子ども委員に加え、今回のために集まってくれた子どもたちでグループに分かれて話し合いを行いました。

当日の話し合いの内容はこちら



11/16 「子どもの権利について子どもと大人で意見交換」

川崎市子ども会議子ども委員に加え、今回のために集まった子どもたちや地域で子どもを支える活動を行う大人たちで、話し合いを行いました。グループに分かれて、「学んだことを忘れないような子どもの権利の学習」、「子どもが安心して過ごせる場所やつながり」、「子どもの権利に関する条例のこれからに必要なこと（特に大人への広め方）」について、子どもも大人も一緒になってさまざまな意見を出し合いました。

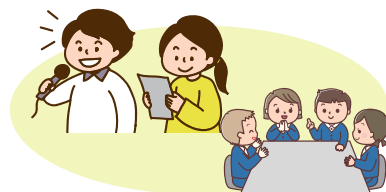
当日の話し合いの内容はこちら



3/27(予定) 「子どもの意見を市長に伝える」

7月、11月のカワサキ☆U18の話し合いを受けて、川崎市子ども会議定例会議で整理や絞り込みを行なった子どもの意見を、市長に伝える予定です。参加者募集等の詳細はホームページで発表します。

川崎市子ども会議についてはこちら



第9期 川崎市子どもの権利委員会が発足しました



川崎市子どもの権利委員会は、市の子どもの権利の保障状況を調査・検証をするための附属機関です。

今期の諮問「子どもの権利が尊重されるための目指すべき姿や目標設定の在り方等について」を受け、3年間かけて、子どもを含む市民や、行政機関等との対話調査や、行動計画の評価などを実施します。



第9期子どもの権利委員のみなさん

○ 安 ウンギョン	平成国際大学 専任講師
和泉 徹彦	嘉悦大学 教授
◎ 加藤 悦雄	大妻女子大学 教授
金子 あかね	子育て支援活動(びーんずネット代表)
霜倉 博文	白山愛児園施設長
蔣 香梅	川崎市国際交流協会 相談員
高石 啓人	日本大学 助教
田上 直子	公募市民委員
寺島 智美	公募市民委員
山岸 敦志	弁護士(神奈川県弁護士会)

◎委員長 ○副委員長 任期:令和7年10月1日～令和10年9月30日

